

下町河川 Tomorrow

東京都の江東内部河川流域連絡会の情報紙（会議録）

平成29年6月23日（金）

第59回（第9期第3回）江東内部河川流域連絡会を開催



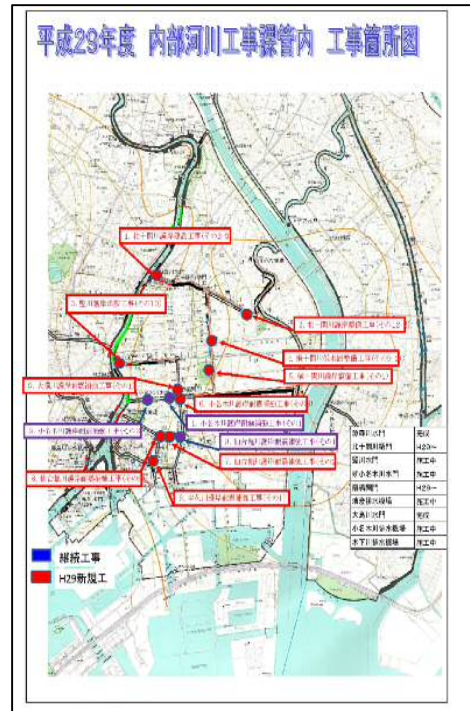
会議の様子

- ・「第59回（第9期第3回）江東内部河川流域連絡会」を、午後1時45分から午後4時00分の約2時間15分、曳舟文化センター 2階 第1会議室にて開催しました。
- ・都民委員13名、行政委員10名が参加しました。
- ・新任行政委員の紹介の後、今年度の河川事業について、資料を用いた説明と行政・都民委員からの情報提供が行われました。その後意見交換を行いました。

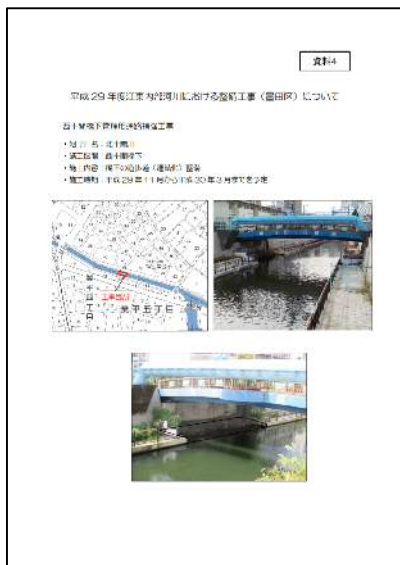
議題及び情報提供

1. 今年度の河川事業について

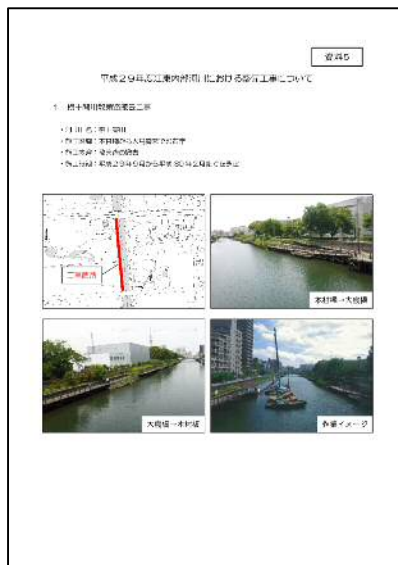
- ・東京都による今年度の河川事業は、継続工事：3件、新規工事：11件で、新規事業の工事内容の説明がありました。
- ・墨田区は、西十間橋下管理用通路補強工事の実施について説明がありました。
- ・江東区は、横十間川散策路撤去工事の実施について説明がありました。
- ・江戸川区は、新規の工事は無いため、通常の河川管理業務について説明がありました。



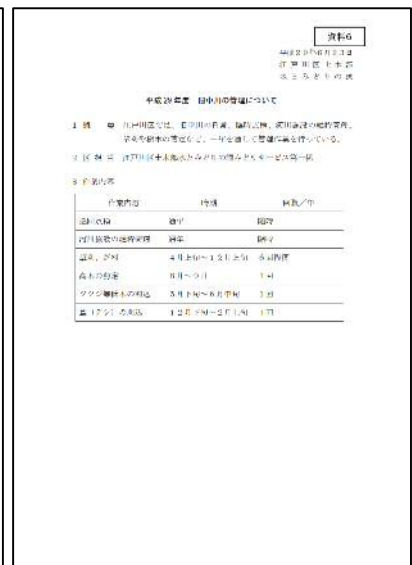
<東京都>



<墨田区>



<江東区>



<江戸川区>

【意見交換】

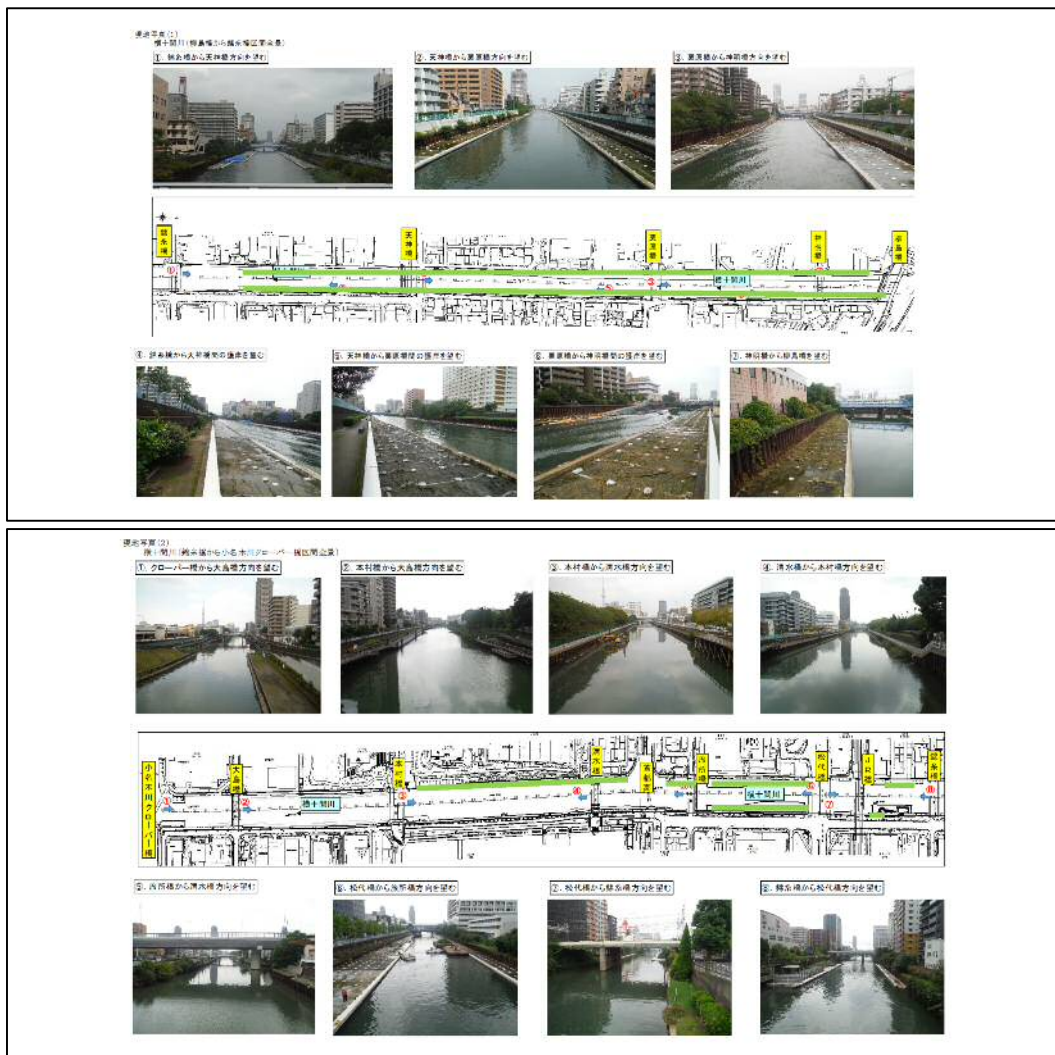
◆都民委員 ◇行政委員

- ◆北十間川の小原橋の工事は、いつごろから始まる予定になっているのか。
- ◇第五建設事務所により、本年度に工事が行われます。
- ◆西十間橋下管理用通路補強工事において、西十間橋が構造として弱いと聞いている。
- ◇橋梁に影響を与えない構造体を考えておりますし橋梁に影響を与えない施工を行います。

- ◆北十間川の源森橋から枕橋のプロムナードの整備状況について、進捗状況を教えてください。
- ◇東武鉄道高架下、墨田公園とそれらの間の道路を一体的に整備する考えでいます。護岸工事は、本年度から来年度にかけて実施予定です。但し、下水道の工事の影響で業平橋ポンプ場のところは、遅れる可能性があります。
- ◆小原橋の付近の整備について、以前はツツジが多く咲く場所でしたので、そのことに配慮した整備を行ってほしい。
- ◇都としては、旧中川の整備に近い自然が保てる整備にしたいと考えています。

2. 横十間川の整備について

- ・北側から低水路整備を順次行ってきており、下流側が残っている状況です。
- ・下流側は、今年度から低水路整備とともに修景の工事に入ります。河川施設は東京都、その他植栽や照明等は、関係区で整備する方向で検討しています。
- ・現在あるボードウォークの機能を確保できるように検討しています。



【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆現在あるボードウォークが果たしている機能を確保していただければ、木道である必要はない。
- ◇工事のため、現ボードウォークは撤去します。低水路整備後に、新たな幅員に余裕のあるボードウォークが整備されるよう検討しています。
- ◇工事は、片岸ずつ行いますので、工事していない方は、従前どおりご利用いただけます。
- ◆横十間川と堅川のT字路となっている箇所は、どのような造りになるのか。
- ◇低水路護岸の整備は完了しました。その上部は、堅川親水公園と一体的に整備しようと考えています。ただ、自立支援センターを一時的に設置する計画になっていますので、その後、墨田区、江東区で協議し、周辺の住民の皆様のご意見を伺い、良い整備を行いたいと考えています。また、川は渡れるようにしたいと考えています。

3. 都民委員・行政委員からの情報提供

- ・都民委員及び行政委員より、次のような情報提供がありました。

(1) 旧中川灯籠流しについて

- ・江戸川区平井東自治会と亀戸九丁目町会が平井側と亀戸側で、ふれあい橋を挟み両側で灯籠流しを行っている。
- ・今年は8月15日火曜日に実施する。

(2) 扇橋閘門施設と河川公園の有効・友好活用について

- ・扇橋閘門とその周辺も含めた活用を考えて欲しい。
- ・閘門と公園を一体化した広場空間への転化するために河川公園と閘門施設の垣根を取り払って欲しい。
- ・川岸から閘門の仕組みを理解できるようになり、広場が人々を結びつける場となるようにしたい。

(3) 明治丸が拓いた小笠原との航路について

- ・明治丸は小笠原の領有権を日本が主張するきっかけを作った。
- ・日本が、EEZ 排他的経済水域6位になったのは、明治丸の功績があったということを理解していただきたく、イベントを16回続けてきている。
- ・懇親会には、小笠原の日本への帰属を決めたと聞いているセーボレー氏のご子孫も参加され、お話をすることができる。



(4) ふれあいボート教室について

- ・今年毎月第1土曜日、4月から10月までの間実施する。
- ・ジュニア・ローイング講座は、地域の青少年の健全育成、また、色々な子どもを受け入れる場として続けている。
- ・旧中川は非常に安定した水面が得られているので、初心者にも安全に漕げる状況がある。多くの人々を受け入れる場として引き続き、続けていきたい。



【意見交換】

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆水上の交通ルールで引き波禁止が制定されている。大体の船は守ってくれるが、小型の手漕ぎカヌーには引き波は危険だ。
- ◆岸边には法律に則った正式な引き波禁止の看板があるが、引き波禁止だという声かけができるようにすることや何かアピールをする方法は無いのか。標識に補助看板として解説的なものが付けられないか、橋等に一定期間横断幕のようなものが付けられないか等、有効な安全策をお願いしたい。
- ◆静かに運行しない船も多く入ってきている。
- ◆にぎわってくると色々な船が来る。そうした船が、引き波禁止が事故を起こさないための規制だということを理解し、皆さんで水面を共有することが大切だ。
- ◆動力船も、様子が分かっている方は引き波を立てないように通ってくれるが、初めて入って来るとか、大したスピードが出なくても波が岸まで上がる場合もある。
- ◆越中島の黒船橋のところに、カヌークラブができた。そこは隅田川から入ってくると、引き波禁止となっていない。そこも引き波禁止のエリアに入れていただきたい。
- ◇荒川ロックゲートができたことにより荒川の方から扇橋閘門を抜けて隅田川まで行く船が増えると予想し通行ルールを作り引き波禁止の区間を設けました。
- ◇さらに、通行ルールという冊子を作り、ボート会社やマリーナに配って船への周知を図った経緯があります。
- ◇横十間川は川幅がありますが、北十間川は相当狭いところがあります。そうしたところでは特に引き波を立てないよう、墨田区に関わりのある観光舟運事業者は気にしています。
- ◇もしもマナーの悪い船がありましたら墨田区にご連絡を頂ければ、厳しく指導します。
- ◆通りすがりの状況で、船体番号などを一瞬で見定めることは容易でない。
- ◇公園協会で運営する暫定係留施設の利用者に、そうしたルールを周知することはできると思います。
- ◆引き波は、何ノットなら良いというより船の形、船底によって変わる。だから規制は、何ノットというスピードでもないし船の長さでもないので規制の仕方は難しい。
- ◇規制の看板が引き波禁止となっているのは、そういうことなのです。引き波を立てるなどという規制しか実はできないのが現状です。

4. ご意見・感想等

◆都民委員 ◇行政委員

- ◆旧中川の平井橋は太鼓橋で先般も事故があった。中平井橋を改修するより平井橋を改修する方が先ではないかと思ったが、整備の考えを教えてください。
- ◇墨田区は、橋の長寿命化を図っていく中で、平井橋も相当古いということは理解していますが、補修を要する橋は沢山あるのが現実で、優先順位を付け順次対応を急いでいるところです。平井橋については、江戸川区さんと事前協議の上改修をすることとなります。ご意見は、墨田区の所管部局に伝えます。
- ◇江東内部河川の周辺地域は、地盤沈下が顕著な地域です。地盤沈下が進行すると、橋梁は太鼓橋になってしまうという現実があります。縦断を均し、取り付け道路とも均すということは、難しい課題であると思っています。
- ◆今年豊洲の東電掘のところで、クローバー橋の東側のところに、カヌーの乗り降りのできる施設を造る作業が始まる。次の機会に状況をお知らせができればと思っている。
- ◇東京都は、河川愛護月間の一環として、江東内部河川では旧中川を歩こうというイベントを7月1日に実施いたします。参加していただければと思います。



流域連絡会の今後の予定

今回は、9月頃に予定したいと考えています。